



# コンバージドイーサネット上の RDMA (RoCE) バージョン 2

---

- ・ [コンバージドイーサネット上の RDMA \(1 ページ\)](#)

## コンバージドイーサネット上の RDMA

コンバージドイーサネット上の RDMA バージョン 2 (RoCEv2) は、イーサネットネットワークを介したリモートダイレクトメモリアクセス (RDMA) を可能にするネットワークプロトコルです。RDMA テクノロジーの利点を活用することで、サーバまたはストレージシステム間の低遅延で高帯域幅の通信を可能にします。RoCEv2 では、従来の TCP/IP ネットワーキングスタックのオーバーヘッドが不要になるため、パフォーマンスが向上し、遅延が減少します。これにより、効率的なデータ転送が可能になり、アプリケーションがリモートメモリに直接アクセスできるようになるため、ネットワーク全体の効率と拡張性が向上します。RoCEv2 は、ネットワークパフォーマンスを最適化し、データ集約型のワークロードを高速化するために、データセンターやハイパフォーマンスコンピューティング環境でよく使用されます。

RoCE v2 は、Windows、Linux、および ESXi プラットフォームでサポートされています。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。